

福井市日之出地区の住民でつくる「ひのでまちづくり協議会」は8月24、25の両日、20年以上交流を続ける岡山県倉敷市真備町にある箭田地区を訪れた。地元の夏祭りに参加し、福井の物産展を開くなど交流を深めた。

両地区は、2004年に福井市で開かれた「まちづくり全国交流大会」をきっかけに交流を始め、それぞれのまちづくり協議会が主体となり互いを訪問している。18年の西日本豪雨の際には、堤防が決

## 倉敷のまちと深めた絆

### 岡山夏祭り参加、豪雨復興喜ぶ

壊し甚大な被害に見舞われた箭田地区を、ひのでまち協のメンバーらが訪問し、義援金や復興を願う寄せ書きなどを贈った。

今年7月、決壊した堤防に復興のシンボルとなる防災公園「まびふれあい公園」が開園。箭田地区恒例の夏祭り「竹&ふれあいフェスタ」を同公

園で開くことになり、ひのでまち協のメンバーら5人が現地に赴いた。

当日は、会場にへしこや銘菓など福井名物を販売するブースを設け、周辺に福井をPRするポスターなどを貼った。立ち寄った住民と近況を報告し合ったり、福井のパンフレットを手渡すなど親睦を



箭田地区の夏祭りでは福井をPRしたブース＝8月24日、岡山県倉敷市真備町

深めた。

また公園内にある西日本豪雨の被害と復興状況を説明するパネル展示や、当時の浸水高を示すラインが引かれた高架橋、箭田地区特産の竹を扱う企業を両地区の住民で訪れるなどした。

ひのでまち協の山田年克会長は「復興を改めて感じる」とができた。長年の交流を通して顔なじみになった人と互いの地区について意見交換ができた」と話していた。

(山岸董)